

国家プロジェクト
「地域に根ざした木造住宅施工技術体制整備事業」

大工志塾 木 募集案内

伝統構法を

座学・工務店修業(OT)・集合実技研修

の「3本の柱」で実践研修!!

第3期生募集

2020年6月19日開講!!

- 研修期間 2020年6月～2023年5月
- 対象教室 福島・東京・名古屋・大阪・福岡・金沢
- 応募期間 2020年4月1日～5月18日

運営：一般財団法人住宅産業研修財団
優良工務店の会 (Quality Builders Club)

大工志塾とは？ — 伝統構法を伝えたい人と学びたい人の集まり

目的

本塾は、若手大工等を対象とし、木造伝統構法に関する基本的な大工技術・技能を習得できるよう指導し、次世代を担う人材を育成することを目的とする。

運営主体

一般財団法人住宅産業研修財団

（共同運営者 キュービーシー クオリティ ビルダーズ クラブ 優良工務店の会（QBC, Quality Builders Club））

育成プログラム

「3本の柱」で3年間、建築大工技能士資格を取得するとともに伝統構法の担い手となる。

- 1) 座学（毎月2講義、福島・東京・名古屋・大阪・福岡・金沢の全6教室で実施）
- 2) 日常の工務店修業（OJT, On-the-Job Training）
- 3) 集合実技研修（延22日程度、群馬県多野郡神流町の森林組合作業場等にて実施）



入塾式



合掌造り



三重塔

～塾長挨拶～

現代では、工業化された部品を組み立てるだけで住居が完成します。手づくりの家は少数です。しかし、手づくりにこだわりたい、日本の伝統文化を活かした住宅に住みたい、文化財である建物を保存したい、という要望は絶えることがありません。この要望に応えるためには、伝統構法を習得した大工職人が必要です。

日本建築の伝統構法には、奥深い知識や木工技術・造作技芸が蓄積されています。樹木の特性を見極めて適材適所に使う知識、木材を加工して繋ぎ合わせ組み合わせる技術、住まいの伝統文化を受け継ぐ技芸は、簡単に身につくものではありません。

大工志塾の育成プログラムは、伝統構法を伝える規矩術・木工術・術語で成り立っています。いずれも日本建築固有のものです。規矩術・木工術は、これを体得した大工棟梁が指導し、術語は学識経験者が伝えます。集合実技研修では、学んだ知識・技術を活かし、力を合わせて合掌造りや三重塔の軸組を作る、といった経験もできます。

伝統構法が継承されなければ、日本列島固有の家づくりの知恵や技術は消滅していきます。これを学び、現代に活かす工夫を続けることで知識や技術は生き続けます。伝統構法を伝えたい人達のもとに集まって、その技術と知識を学んでみませんか。「日本の大工職人の伝統を受け継ぐ」という志を持った仲間たちが集まっているのが「大工志塾」です。



大工志塾 塾長
浅野 平八

- | | |
|-------|------------------------------|
| 1945年 | 福岡県生まれ |
| 1969年 | 日本大学生産工学部建築工学科卒業 |
| 1971年 | 日本大学大学院博士前期課程修了 |
| 1994年 | 日本大学教授（2015年まで） |
| 2003年 | 大工育成塾企画運営委員（2015年まで） |
| 2006年 | 「真の日本の住まい」提案競技審査委員長（2010年まで） |
| 現在 | （一財）住宅産業研修財団評議員 |
| 著書 | 『木造住宅のしくみ』『風土の意匠』他 |

1. 育成プログラムの「^{くだばしら}管柱」 - 座学

1-1 熟練棟梁が伝える規矩術 (117時間)

- 1 墨壺、墨差し、尺金（さしがね）による墨付術
- 2 大工道具の使い方
- 3 展開図法による原寸図作成術
- 4 棒隅木、四方転びの実践的な墨付・刻み術の習得
- 5 伝統構法の継手・仕口（金輪継、台持継、追掛大栓継、車知継）の墨付・刻み術の取得
- 6 伝統構法の架構・造作（折置組、太鼓梁、丸桁、丸柱、廻り階段、和室造作、数寄屋造）の理解
- 7 大工職人・棟梁の役割、職人の心得



東京教室



名古屋教室



大阪教室

1-2 学識者・経験者が伝える伝統構法の基礎知識 (99時間)

家づくりとは何か	住まいの構法の歴史、各部位の構法、古民家再生
木造住宅のしくみ	日本在来の伝統木造住宅の成り立ち、伝統構法の術語
山と木の話	木材の特質と使い方、建築用材の生産・流通
大工の道具	道具の種類、道具の発達、大工技術と道具
木造住宅の施工	住宅生産の工程、大工工事の要点、関連工事
木構造	構造力学の基礎知識、木造の軸組・小屋組の構造設計
住環境	温熱・換気の基礎知識、パッシブデザイン
防火の基準	建築法規の基礎知識・火災・防火・安全計画
住まいの歴史	伝統的日本家屋の特徴、住まい方の変遷
住まいの設計	伝統構法の設計図、架構の設計、納まりの設計

2. 育成プログラムの「^{とおしばしら}通柱」 - 工務店修業 (OJT)

実際の建築現場において、業務を通して計画的に行う教育訓練 (OJT, On-the-Job Training)

1 年次	大工職としての日常的な生活態度と心得を体得 大工道具の使い方と手入れ方法を習得 材木の見分け方、扱い方を習得 基本的な継手・仕口の理解と墨付け・刻みの技術を習得
2 年次	電動工具の使い方を習得 板図の作成と解読 建て方を経験 部材の組み上げ、下地処理、簡単な造作、仕上げを習得 安全な工事、現場管理の知識を習得
3 年次	伝統構法の継手・仕口の墨付け・刻みを習得 簡単な造作家具の製作と取付を習得 設備工事・仕上工事・付帯工事・関連工事を理解 住宅建築に関わる基本的法規を理解 安全衛生管理を理解



OJT風景



OJT風景

3. 育成プログラムの「^{だいくばしら}大黒柱」 - 集合実技研修

群馬県多野郡神流町の協力のもと、課題製作・林業見学等を実施

1. 森林の維持管理、伐採、製材の現場を見学する（協力：神流町森林組合）
2. 合掌造りの部材を塾生ひとり一人が加工し、1棟の小屋組を建ち上げる
3. 統括指導棟梁の指揮により、全塾生で三重塔の軸組を製作
4. 伝統構法による木造住宅の軸組を建ち上げる



伐採見学



課題製作

募集要項＜第3期生＞ (2020年6月～2023年5月)

- ✓ **応募資格**：本塾へ入塾できる資格を有する者は、木造伝統構法に関する大工技術・技能の習得・継承を志す者で、下記要件に適合する者とします。
 - ①工務店の職員（雇用保険等社会保険への加入等により、実際に就業していることが認められる者）等である若手大工、見習い等であること
 - ②健康であること
 - ③入塾年度の前年度の末日において、満15歳以上であること
なお、未成年の場合は、保護者が入塾に同意していること
- ✓ **募集人員**：40名（全国6教室（福島・東京・名古屋・大阪・福岡・金沢）の合計）
- ✓ **授業料**：1年次 25万円 2年次 25万円 3年次 25万円
- ✓ **委託代金**：塾生が所属する工務店においては、実務研修の費用として「工務店修業（0JT）委託代金」が支払われます。（1年次 20万円 2年次 20万円 3年次 20万円）
- ✓ **入塾申込**：入塾を希望する方は、次の書類を大工志塾事務局に請求の上、郵送にて提出してください。
 - ①入塾願書 ②塾生推薦書兼所属工務店登録書
- ✓ **申込期間**：**2020年4月1日～2020年5月18日**
書類審査により選考し、入塾の可否を6月初旬に所属工務店宛に通知します。
- ✓ **提出先**：大工志塾事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル1F
一般財団法人住宅産業研修財団 内
TEL：03-6273-2585 FAX：03-6273-2595 Email：daiku@jaho.or.jp

塾生からのメッセージ



大工志塾 第1期生
齋藤 寛之さん

工務店での業務と並行して取り組む大工志塾は、普段の仕事の悩みや疑問を塾で解消でき、講義の中で学んだ知識を仕事で活用できる良い仕組みだと感じています。最近のことですが、仕事で平家一棟の「木出しから墨付け」を任せてもらえました。講義の中で教わった軸組の構造の考え方や規矩術を参考に、木の使い方や小屋組の納まり、屋根の納まりなど、自分なりに考えて挑戦することができました。大工志塾で「学び」、仕事で「実践」という流れが、大工としての自信や技術向上や知識習得に繋がっていると感じています。今後も大工志塾を通して、同じ世代の仲間たちと切磋琢磨しながら成長して行きたいと思います。



大工志塾 第1期生
堤 美月さん

座学での伝統構法や製図などの家づくりの基礎知識や、規矩術での部材の長さや屋根の勾配など、初めて知る事がとても多かったです。集合実技研修では、座学で学んだ規矩術を使い、日本の住宅建築様式の一つである合掌造りや、屋根の勾配が全部違う三重塔を作り、墨付けから手刻み、建て方まで行いました。全国の塾生で力を合わせて上棟させた時の達成感とその一体感には凄く感動しました。これから更に知識・技術を向上させて、より良い家づくりが出来るようになりたいです。



大工志塾 第1期生
室田 顕治さん

入塾式に臨んだとき、そこでは自分が想像していたより多くの塾生・関係者の方が参加していたので、びっくりしたのと同時に身が引き締まる気持ちになったことを覚えています。その後、地域ごとで行う教室講義では講師の先生から普段聞けない話を教えてもらうとともに、集合実技研修では全国の塾生と2泊3日で課題製作などを行いました。課題製作にみんなで取り組み、実際に木を伐採するところや製材所での木材加工の現場を見学させてもらうなど、貴重な体験をさせてもらいました。大工志塾に参加して良かったかは、今はまだわかりませんが、色んな人と出会い、そして学ぶことができ、講師の先生、塾生を含む多くの方々に感謝しています。

